

別添

第34回全国環境研究所交流シンポジウム

「気候変動影響とその適応へのアプローチ」

平成31年2月14日(木)～15日(金)
於 国立環境研究所 大山記念ホール

2月14日(木)

司会: 岩崎 一弘(国立環境研究所)

14:30～14:35 開会挨拶

国立環境研究所 理事長 渡辺 知保

14:35～14:40 来賓挨拶

環境省総合環境政策統括官グループ 環境研究技術室長 上田 健二

セッション1: 気候変動適応に向けた国立環境研究所の活動

座長: 肱岡 靖明(国立環境研究所)

(1)14:40～15:00 「気候変動適応法と国立環境研究所の役割」

○向井 人史(国立環境研究所)

(2)15:00～15:20 「気候変動及びその影響の観測・監視・検出に関する研究」

○小熊 宏之(国立環境研究所)

(3)15:20～15:40 「気候変動影響予測手法の高度化に関する研究」

○花崎 直太(国立環境研究所)

(4)15:40～16:00 「社会変動を考慮した適応戦略に関する研究」

○高橋 潔(国立環境研究所)

16:00～16:20 (質疑応答)

16:20～16:30 (休憩)

セッション2: 地域での観測監視・影響評価・適応策(水環境・水資源)

座長: 越川 海(国立環境研究所)

(1)16:30～16:45 「沿岸域・閉鎖性海域の水質・生態系を対象とした気候変動影響の将来予測と適応策の検討に向けて」

○東 博紀(国立環境研究所)

別添

- (2)16:45~17:00 「伊勢湾内干潟アマモ場における炭素貯留量の評価」
○国分 秀樹(三重県保健環境研究所)
- (3)17:00~17:15 「気候変動が干潟生態系における生物多様性・生態系サービスへ及ぼす影響の観測・評価・適応策の検討」
○矢部 徹(国立環境研究所)
- (4)17:15~17:30 「気候変動による日本周辺の海洋環境への影響の監視」
○荒巻 能史(国立環境研究所)
- (5)17:30~17:45 「池田湖の水質に係る気候変動影響について」
○大庭 大輔(鹿児島県環境保健センター)

17:45~17:55 総合討論

18:15~19:45 懇親会（会場：国立環境研究所 中会議室）※事前希望者のみ

2月15日(金)

司会：岩崎 一弘(国立環境研究所)

セッション3： 地域での観測監視・影響評価・適応策(陸域・大気)

座長： 小熊 宏之・菅田 誠治(国立環境研究所)

- (1)9:00~9:15 「長野県における気候変動とカラマツ人工林を活用した緩和策・適応策の検討」
○栗林 正俊(長野県環境保全研究所)
- (2)9:15~9:30 「陸域・陸水生態系への気候変動影響と適応」
○角谷 拓(国立環境研究所)
- (3)9:30~9:45 「長野県における気候変動及び自然環境影響の観測・監視に関する研究」
○浜田 崇(長野県環境保全研究所)
- 9:45~9:55 (休憩・座長交代)**
- (4)9:55~10:10 「気候変動が日本の大気汚染にもたらす影響とその健康・植生へのインパクト評価」
○永島 達也(国立環境研究所)
- (5)10:10~10:25 「SLCPによる環境影響評価：推進費 S-12 の成果と排出シナリオ」
○増井 利彦・花岡 達也(国立環境研究所)
- (6)10:25~10:40 「北海道における気候変動適応に向けての取組み」
○鈴木 啓明(北海道立総合研究機構 環境科学研究センター)
- (7)10:40~10:55 「都市公園再整備による暑熱環境の変化」
○榎原 正敬(横浜市環境科学研究所)
- (8)10:55~11:10 「気候変動が埼玉県の業種別エネルギーコストに与える影響について」
○本城 慶多(埼玉県環境科学国際センター)

11:10~11:20 総合討論

別添

セッション 4: 地方環境研における活動

座長: 岩崎 一弘(国立環境研究所)

(1)11:20~11:35 「横浜市内におけるマイクロプラスチック調査」

○蝦名 紗衣(横浜市環境科学研究所)

(2)11:35~11:50 「大阪府におけるダイオキシン類の常時監視データの活用」

○伊藤 耕二(大阪府立環境農林水産総合研究所)

11:50~12:00 閉会挨拶

国立環境研究所 理事 原澤 英夫

13:30~14:30 所内施設見学会 ※事前希望者のみ